

のぞみこども園

1. 基本方針

・保育方針

心身ともに健やかに育ちながら、将来社会の一員として、生活していくための土台となる
いろいろな能力や、豊かな人間性が身につくよう、一人ひとりを受けとめ育む教育・保育
を目指す。

2. 事業目標

- (1) 園児確保 定員の120%を早期に達成することで、経営の安定を図る。
- (2) 職員体制の強化 必要人員の15～20%増の人員確保することで、働きやすさ、業務
軽減のための人員を確保する。

3. 事業計画

(1) 事業内容

- ①定員 : 2・3号定員90名・1号定員3名 令和7年4月在籍予定数98名
- ②対象児 : 産休明け(満2か月)から就学前の児童
- ③開園日 : 月曜日～土曜日 (日曜日、国民の休日、12/29～1/4を除く)
- ④開園時間 : 7:00～19:00
- ⑤職員体制 : 園長・副園長・主幹教諭2名・事務員・栄養士
保育教諭(正規職員)12名・(契約職員)2名・(非常勤職員)9名
保育補助(非常勤職員)3名 (令和7年度3月現在)

(2) 行事予定

- ①行事 : 入園式・進級式・夏まつり・お芋ほり・運動会・お餅つき・クリスマス会・
豆まき・生活発表会・卒園式・その他(保育参観・保護者懇談会・遠足・お
泊り保育)
- ②定例活動 : お誕生日会・避難訓練・BCP訓練・園バスによる園外保育
- ③会議 : 職員会議(毎週)、クラス会議(毎月)リーダー会議(毎月)
運営会議(随時)、給食会議(毎月)

(3) 今年度の取り組み

①利用者・地域の視点

- ・「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園)」を実施し、地域の未入園児が通園できる
機会を提供する。
- ・子ども一人ひとりの興味・関心・思いを受け止め寄り添うことで、好きな活動を通して
自ら「やりたい」「こうしたい」と自信をもってチャレンジできるような環境を提供す
る。

②財務の視点

- ・各加算や補助金取得に努め運営の安定を図る。
- ・未入園児のための園庭解放「のぞみひろば」の内容の充実を図り、広報としてSNSを利用しながら、来園者や園児確保につなげる。
- ・定員120%の園児数を目指す。

③業務プロセスの視点

- ・業務分掌・時間確保などに努めると共に必要な場合は時間外勤務申請を行い、業務を計画的に進める
- ・誰もが適切な保育が行えるように指標となる業務手順・マニュアルの周知に努める。

④職員の視点

- ・職員会議や対話を重ねて意識の統一を図り同じ方向性をもって働ける環境を作っていく。
- ・人事考課や法人内研修を利用しつつ、職員一人ひとりがやるべきこと、できることを考え主体的に行動できる集団を作る。

4. 地域との連携や関連事項

- (1) 「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」を実施する。
- (2) 京都式キャリアアップ研修、市や保健所主催の研修へ職員を派遣する。
- (3) 地域の高齢者との世代間交流を行う。（伝承遊び・寄せ植え等）
- (4) 地域の未入園児対象の「のぞみひろば」を開催（週1回）し、子育て相談を随時実施する。
- (5) 園の行事に地域の子どもや卒園児を招待する。（夏まつり）
- (6) 町内会へ園内行事の案内をし、町内会の防災訓練にも参加する。
- (7) 大学生の保育実習や、中・高生のボランティア、職業体験を受け入れる。
- (8) 入学先の各小学校への引継ぎ、保幼こ小連絡会「懸け橋ブロック」へ積極的に参加する

5. 施設内における設備関係の設置・修繕等

- (1) エレベーターの修繕（700 千円）
- (2) 園舎周り整備（2,000 千円）